

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 01 02	中期総合計画主要施策番号		2-04、5-11		担当課	部・課	林務部森林政策課		
事業名		森林地理情報システム(GIS)構築事業				内線		3220			
						E-mail		rinsei@pref.nagano.jp			
事業の概要等	事業の目的	・紙ベースの森林簿や森林計画図等を電子化し、市町村や地方事務所で森林簿等の情報更新作業を行うことで、情報の精度を高めるとともに情報の更新作業の効率化を図り、行政の事業立案及び施業計画樹立的確性の向上を図る。									
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・森林簿の更新作業は紙ベースで修正した森林簿を基に森林簿データ作成システムにより行い、森林計画図の更新作業は紙ベースで修正した原稿を基に委託により行っており、森林簿と森林計画図の修正内容の整合を図らなければならないなど効率が悪い。 ・森林簿等の修正は、5年に1度の地域森林計画策定時におこなっており、情報の更新度合いが低い。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・森林簿、森林計画図を、情報のリンクがされない紙ベースで保持している。 ・森林簿等の更新作業は森林政策課で一括行っており、膨大な変更について随時の更新作業が困難である。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・森林簿と森林計画図を電子情報により管理し、修正作業をリンクすることにより効率的に行う必要がある。 ・最新の森林関連情報を取得するため、より現場に近い市町村や地方事務所で森林簿等の更新作業を行う必要がある。									
		事業内容	・森林簿と森林計画図の更新作業を行う基幹システム及び事務事業系システムの開発を行う。 ・森林計画図の電子データ化を行う。								
		実施期間	H17 ~ H20	根拠法令等	森林法						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況			評価		
	・森林地理情報システムの構築を行う。 ・森林計画図等の電子データ化を行う。		・事務事業系システムの開発を行う。 ・上伊那、下伊那地方事務所管内の森林計画図及び林道台帳を電子データ化する。			・部内の事務事業をシステム化したことで、事業の効率化が図られるようになった。 ・全ての地方事務所管内のデータ化が完了し、森林簿や森林計画図の更新作業が効率よく行えるようになった。			a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要				
	最終予算額 (A)		千円	55,544	81,174		国庫・県単		国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	55,279	73,728		実施方法		直接、委託		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	27,976	39,958		歳出節別内訳等		賃金ほか: 4,527 委託料: 67,028 使用料及び賃借料: 2,244		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.00	2.00						
	概算人件費 (C)		千円	14,280	14,280		(単位: 千円)				
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	69,559	88,008							
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績				
	データ整備(森林計画図電子化)		地事	4	2		・操作研修8回 ・運用研修2回				
	基幹システム開発		式	1							
	事務事業系システム開発		式		1						
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明								
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明 (終了)					
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり						
	課題の総括		・森林簿と森林計画図の更新作業を行う基幹システム及び事務事業系システムの開発並びに森林計画図の電子データ化が完了したことから業務を終了する。 ・今後は、システムに搭載されている森林簿情報の精度向上と、間伐実績などの情報蓄積を進めるため、市町村や地方事務所職員に対する操作研修を実施する。(別業務において実施予定)								